

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	容器構造小委員会		主 査 名：内藤幸雄 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会		委員長名：和田 章
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2006 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「容器構造設計指針・同解説(1996年版)」の改定</li> <li>・抽出された要改定点に関する改定の方向性の検討、これに関する調査</li> <li>・サイロの地震応答やスロッシングの 2 方向入力効果に関するパラメタスタディ</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	内藤幸雄(鹿島) 小林信之(青学大) 廣瀬仁志(トーヨーカネツ) 秋山 宏(日大) 大越俊男(日本設計) 桑村 仁(東大) 小山 実(大成) 柴田耕一(日大) 中村雄二(中村研) 西口英夫(東電) 土方勝一郎(東電) 森 廣明(JFE プラント) 山田大彦(東北大) 山中 豊(ブリジストン) 吉田 順(清水)		
設置 WG (WG 名：目的)	容器構造の地震荷重・応答評価 WG		
2005 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離散系より簡単なスロッシング解析手法や 2 方向入力評価法が提案された。</li> <li>2. サイロの払出し時圧力割増係数改定の方向性が検討された。</li> <li>3. サイロ内容物による地震時エネルギー吸収を取入れる評価法が検討された。</li> </ol>
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2004 年発足時の当初計画から遅れた。</li> <li>2. 周期 15 秒程度までの設計用地震応答スペクトルを定めたいが、時期尚早の懸念もある。</li> </ol>